

# 日本語への旅

～古代と現代の越境文学～

Journey into  
Japanese Language

2014.11.22 (土) 14:00 ~ 15:30

文学書道館 1階ギャラリー

入場無料、要申込（先着200名）

往復ハガキ（1枚につき1名様有効）に、  
①「リービ英雄講演会」希望 ②郵便番号 ③住所  
④氏名（ふりがな） ⑤電話番号 ⑥年齢 を明記  
して郵送。当館1階受付での直接申込も可能です。

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2-22-1

☎088-625-7485 FAX 088-625-7540

写真／川本聖哉

一人の少年が西洋文化からドロップ・アウトして、日本の内と外の見えない境界線をさすらつた。アメリカから「家出」して「しんじゅく」へ逃げこんだベン・アイザックのさすらいは、日本への越境の物語である。  
その物語を、ぼくは日本語でしか書くことはできなかつた。

『星条旗の聞こえない部屋』あとがきより

講師

リービ英雄

（作家）



講師

# リービ英雄

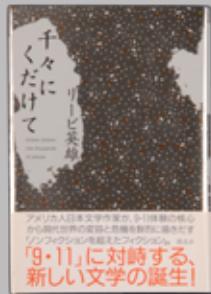
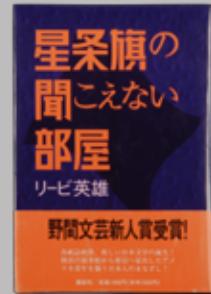
西洋出身者として初めての日本文学作家。1950年米国カリフォルニア州で、東欧系ユダヤ人の父とポーランド移民の母の間に生まれる。本名は Ian Hideo Levy、ヒデオは父の友人に因んで名付けられた。父は外交官で少年時代から台湾、香港などに移住し、16歳から日本に住む。以降、日米往還を繰り返し、その間プリンストン大学大学院博士課程修了。プリンストン、スタンフォード大学で日本文学教授を務める。現在東京に在住。

## 【受賞歴】

82年、「万葉集」の英訳で全米図書賞  
92年、小説デビュー作『星条旗の聞こえない部屋』で野間文芸新人賞  
05年、『千々にくだけて』で大佛次郎賞  
07年、国際交流基金主宰の国際文化奨励賞  
09年、『仮の水』で伊藤整文学賞

## 【著作（小説）】

『星条旗の聞こえない部屋』1992  
『天安門』1996  
『国民のうた』1998  
『ヘンリーだけしレヴィツキーの夏の紀行』2002  
『千々にくだけて』2005  
『仮の水』2008



## 【著作（評論）】

『日本語の勝利』1992  
『新宿の万葉集』1996  
『アイデンティティーズ』1997  
『最後の国境への旅』2000  
『日本語を書く部屋』2001  
『我的中国』2004  
『英語で読む万葉集』2004  
『越境の声』2007  
『延安 革命聖地への旅』2008  
『我的日本語』2010  
『大陸へアメリカと中国の現在を日本語で書く』2012



司会

# 阿部曜子

四国大学文学部国際文化学科教授。英米文学、比較文学。最近は第二次世界大戦～冷戦期の英文学とメディアの関係についての研究を行う。越境文学については論文「越境の文学—越えたときに何が見えたか」、「文学における境界・越境」(いずれも共著)がある。著書は『グレアム・グリーン文学の原風景』、『挑戦する作家 遠藤周作』(いずれも共著)ほか。



## ○アクセス (JR 徳島駅から)

### 徒歩 約 15 分

JR 徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折します。  
踏切と助任川を越えて 3 つ目の信号交差点を右折し約 300m。徳島中学校東隣になります。

### バス

【徳島市営バス】7 番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車し「吉野本町 2 丁目」下車、徒歩約 5 分。

【徳島バス】 2 番乗り場「前川経由」に乗車し、「吉野本町 2 丁目」下車、徒歩約 5 分。

### タクシー・自動車

国道 192 号線、藍場町交差点を北進、助任川を渡り 4 つ目の信号を右折して約 300m。当館北側に駐車場(43 台・大型バス 2 台)があります。

## ○次回 講演会のお知らせ

### 秋の文学講演会 II

# 「村上春樹と四国」

～『ノルウェイの森』などをめぐって～

講師：小山鉄郎（共同通信編集委員）

日時：11月 29 日（土）14:00～

場所：1 階ギャラリー

※入場無料、要申込（先着 200 名）

往復ハガキ（1 枚につき 1 名様有効）に、

①「小山鉄郎講演会」希望 ②郵便番号 ③住所

④氏名（ふりがな） ⑤電話番号 ⑥年齢

を明記して郵送。当館 1 階受付での直接申込も可能です。